

| | | | | | | | |
|----------|--|---|-------|----------|--------|----------|-------|
| 科目区分 | 専門分野 | | | 科目番号 | 1102 | 曜日時間 | 不定期 |
| 授業科目 | 小児看護学援助論 I | | | | | | |
| 単位数 | 1 単位 | 時間 | 16 時間 | 開講時期 | 2 年次前期 | 授業形態 | 講義・演習 |
| 担当教員 | 門分 未来 | | | | | | |
| 授業目的 | 病気・障害をもつ小児と家族の看護について学ぶ。 | | | | | | |
| 中核 | 子どもとその家族の体験の支援 | | | | | | |
| 授業目標 | 1. 病気・障害をもつ小児と家族の生活と看護について理解できる。 2. 病気・障害に伴う症状を示す小児の看護について理解できる。 3. 検査・治療を受ける小児の看護について理解できる。 | | | | | | |
| 授業の内容と方法 | 回 | 授業内容 | | 授業方法 | 時間 | 担当 | 備考 |
| | 8 | 1. 病気・障害をもつ子どもと家族の看護 2. 子どもの状況（環境）に特徴づけられる看護 入院中の子どもと家族の看護 外来における子どもと家族の看護 3. 子どもの状況（環境）に特徴づけられる看護 1) 在宅療養中の子どもと家族の看護 2) 災害時の子どもと家族の看護 3) 子どもにおける疾病の経過と看護 慢性期/急性期/周手術期/終末期にある子どもと家族の看護 4. 子どものアセスメント 1) アセスメントに必要な技術 2) 身体的アセスメント 5. 症状を示す子どもの看護 主症状と看護 ・発熱・嘔吐・下痢・便秘・脱水・発疹 ・出血・貧血・発疹・黄疸 6. 症状を示す子どもの看護 緊急時の看護 ・呼吸困難・チアノーゼ・ショック・意識障害・痙攣 7. 検査・処置を受ける子どもの看護 1) 検査・処置総論 2) 薬物動態と薬用量の決定 3) 検査処置各論 8. 障害のある子どもと家族の看護 子どもの虐待と看護 9. 小児看護に必要な技術 1) バイタルサインチェック 2) 身体計測、ベッド柵の取り扱い、オムツ交換 3) 輸液中の管理 4) 薬物療法 10. 評価・まとめ | | 講義 演習 | 16 | 門分 未来 | |
| 評価計画方法 | 終了試験、講義後小テスト、リフレクションノート、提出物および提出状況、授業中の態度から総合的に評価する。 | | | | | | |
| テキスト参考図書 | 奈良間 美保他著：小児看護学①小児看護学概論・小児臨床看護総論，医学書院 | | | | | | |
| 実務歴有 | 看護師 | | | | | | |
| 講義への反映 | 臨床場面から新生児医療の現状と看護の必要性を実感できる講義を展開する | | | | | | |
| 備考 | 概論から継続したリフレクションノートとクリアファイル（ポートフォリオ）を使用すること | | | | | | |